



海南警備府第三十二部隊

被接收經過概要

日

時

昭和三十年十一月二十六日 (月曜日) 自〇九一〇

場

所

陵水縣新村市

接收側職員氏名

責任者

海軍總司令部
專務部長 梁頭邦

駐海南島警備副官

梁頭邦

見証人

一八八師五六團三營九連駐新村港排長

王、崇勅

被接收側職官氏名

責任者

海南警備府首席參謀

引渡員

海南警備府第三十二部隊長

佐藤豊三郎

担任者 右 同

海軍大尉

辻田悌三郎

海軍中尉

田中一男

下達事項命令訓令備忘録等

(1) 基地警備係管ノ為士官一名下士官兵三十一名留用
(2) 採用車、單車各一台留用者並給用トシテ快用許可

海南警備府
20.12.

0429

一、接收状況

- (イ) 留用者留用期間ハ中國海軍遊駐近ヲ建前トスルモ中國海軍遊駐以前ニ於テモ當方ノ希望ニ依リ留用解止スル事ヲ得、但シ留用解止スル場合ニハ事前ニ中國海軍側ト交渉スルモノトス
- (ロ) 十一月二十五日一〇五接收員部隊着、同日一五〇〇ヨリ二〇〇返警備保管留用者ノ件ニ付打合セ同日部隊一泊
- (ハ) 十一月二十六日〇九一〇ヨリ接收開始一ニ三〇全艇異状ナク夜交裡、引渡完了

一、其他参考事項

- (イ) 自動車用燃料一三〇〇立引渡前消耗ト見做シ使用許可サル
- (ロ) 中國側保管員一名滞留
- (ハ) 震洋艇ハ引渡後モ従前通り整備ヲ續行ス
- (ニ) 留用者ノ糧食(主副共)三ヶ月分確保シアリ
- (ホ) 留用者トノ連絡ハ遠隔ノ地ニシテ甚ダ至難ナリ

終

議長

謀

副官

D

C

一 接收日時

昭和二十年十一月三十日

接收經過概要

海南整備府第一〇二部 益田

二 現地接收責任者

接收人 海軍總司令部 副官 益田 顯邦
特派員 駐海南島辦事處 海軍中校 益田 顯邦

三 接收区分地域

三亞岬 益田 部隊

四 引渡目録之署名及中国側責任者

接收人 海軍總司令部 副官 益田 顯邦
特派員 駐海南島辦事處 海軍中校 益田 顯邦

真收人 同 右 接收委員 杜 衍 庸

見証人 陸軍新編第十九師 參謀 陸軍上尉 劉 兆 常

五 自衛用兵器左ノ通

八集中地区(安通) 小銃一九挺 小銃彈九五〇發

備本府

府

20.12.

接 受

0431

2. 三世岬

小銃一挺 小銃彈五〇發

拳銃三挺 拳銃彈四八發

六 接收言管者ノ下達(口頭)

1. 海軍陸戰隊到着迄其地保管員ニ〇名

2. 其ノ他ニ極メテ友好裡ニ接收終了ス

(終)

0432

被接收經過概要

海南警備府第三十三部隊

一、被接收年月日

昭和二十年十一月三十日（金曜日）

二、接收責任者

海軍總司令部與越區副主任海軍中校 梁顯邦
特派員駐海南島辦事處

接收委員

同 右 海軍少校 黎啓且

接收委員

同 右 陸軍上尉 劉兆常

見証員

陸軍新編十九師參謀 陸軍上尉 劉兆常

三、被接收責任者

海南警備府附 海軍大尉 福田進治

四、接收所要時間

同日自〇九一〇一〇一（時間二十分）

五、被接收物件

別冊引渡目錄、通リ

六、被接收狀況

引渡目錄記載之責任者ヨリ、説明終リテ隊内
遂次接收開始總テ圓滿順調ニ何等遲滯

ナク及好的ニ完了セリ

七、警備交替自時

八、接收員下達命令訓令等

昭和 年 月 日
(未定)

(1) 接收完了、雖も中國海軍上警備交替迄ハ責任ヲ以テ警備ノ續行シ之ニ必要ナル人員ヲ定メ武器彈藥ヲ貸與ス

器彈藥ヲ貸與ス

(2) 有依リ留用者海軍大尉橋田進海以下ニ至ス

(3) 糧食ハ月一日ヨリ絶對責任ヲ以テ支給ス

九、其他参考事項

(1) 被接收物件警備ニ必要ナル武器彈藥及集

駐地自衛用武器彈藥ノ借用證ニ夫々中國海

軍側責任者署名捺印ヲ以テ受領セリ

借用證 (南迎嶺基地 小銃八回彈藥二四〇
拳銃二〇)

(安田集駐地 小銃一五回彈藥七五〇
拳銃一〇)

(終)